

松本市とNTT東日本長野支店による共同実験 ～上高地の山岳地帯での無線技術（LPWA）の実証実験～

エヌエスティ・グローバリスト株式会社（本社：東京都豊島区池袋、代表取締役：山本 直、以下「NSTG」）はLoRa無線製品の開発・販売、コンサルティング事業を2015年から展開しており、今回、東日本電信電話株式会社 長野支店（所在：長野市新田町 支店長：榎本 佳一、以下「NTT東日本」）と松本市（市長：臥雲 義尚）が実施する実証実験に参画し、携帯電波の届かない山岳地帯における緊急連絡を想定した無線通信技術による情報伝達手段で協力をいたします。

1. 目的

松本一高山Big Bridge構想に掲げる「多彩で上質な体験と滞在ができる魅力的な観光ルート」の実現を目指す一環として、NTT東日本と松本市が共同実施するものです。携帯電波が届かない上高地内山岳地帯の登山道において山岳遭難などが発生した際の緊急連絡を想定し、無線通信技術（LPWA）を用いてメッセージ送受信から救急隊手配までを想定した運用テストを行うものです。

2. 対象地

松本市上高地 横尾山荘～穂高岳山荘区間の登山道 約7.1km

3. 実証実験期間

令和3年10月上旬から令和3年10月中旬

4. 協力内容

山岳地帯でも無線通信が届きやすいLPWA無線技術・知見の公開

実験用「登山モニター貸出端末」の製品改良

中継局用 自然エネルギー電源装置（ソーラーパネル＋蓄電池）の提供

250Mw高出力 LoRa無線ネットワーク構築

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

エヌエスティ・グローバリスト株式会社

スマートIoT事業部

（事業部長）坂本 一輝

電話：直通 03-5949-4711

Mail：ksakamoto@nstg.co.jp

上高地の山岳地帯で無線技術 (LPWA)の実証実験を行います

(別紙1)

実証期間
10月上旬～
10月中旬

<目的・趣旨>

山岳遭難が発生した場合などの緊急連絡を想定した、松本市とNTT東日本との共同実施による情報伝達手段の実証実験

<対象地>

横尾山荘～穂高岳山荘区間 登山道沿い(約7.1km)



実証実験の内容

SpreadRouter-MWをベースに製品改良

「改良ポイント」

- 無線出力 標準：20mW → 250mW 高出力に対応
- メッセージ表示 LCDを搭載してテキスト表示、各種ボタン搭載

<検証内容>

登山モニターへ通信用端末を貸し出し、以下の通信が可能か検証

- センターから登山モニターへのメッセージ送信、モニターからの応答
- 登山モニターからセンターへのSOS発信～救助隊手配を想定した運用テスト

